

経済学研究科

研究指導概要

博士前期課程・経済学専攻

1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

1 セメスタ

- ・主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマ仮設定。
- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画の作成を開始し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・指導教員と協議しつつ研究計画を完成させ、論文・データなどのサーヴェイを進展させる。
- ・確定した研究テーマについて、論文発表会にて計画を発表（10-12月）。

3 セメスタ

- ・研究計画に基づき、指導教員の指導に基づき分析・考察を深める。
- ・可能であれば、研究の主要部分について学会発表、学会誌投稿、大学院紀要投稿を行う。
- ・論文発表会にて論文の進捗状況を発表（5-7月）。

4 セメスタ

- ・可能であれば、研究の主要部分について学会発表、学会誌投稿を行う。
- ・修士論文執筆、取りまとめ。
- ・論文発表会にて修士論文の概要を発表（12月）
- ・修士論文を提出、審査。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等（モデルケース）

第2セメスタに、研究計画を発表（10-12月）

第3セメスタに、研究の進捗状況を発表（5-7月）

第4セメスタに、修士論文の概要を発表（12月）

修士課程・公民連携専攻

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・1セメスタにおいて、主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマを仮設定する。
- ・研究テーマに合わせて、履修する授業科目の履修指導を受け、研究を実施する基礎的能力を高める。

2 セメスタ

- ・研究テーマに合わせて、履修する授業科目の履修指導を受け、研究を実施する基礎的能力を高める。

3 セメスタ

- ・主・副指導教員と協議しつつ研究計画を制作し、分析・考察を進める。

4 セメスタ

- ・論文報告会等を機会として活用しつつ、具体的に論文執筆を進める。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

第4セメスタの開始後速やかに中間報告会を開催する。

第4セメスタの終了前に最終報告会を開催する。

中間報告会、最終報告会には教員のほか院生も参加し、幅広い観点からの意見を反映できるようにするものとする。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

1 セメスタ

- ・主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマ仮設定
- ・研究計画の作成開始

2 セメスタ

- ・研究テーマ確定、研究計画の策定、論文発表会にて計画発表（10-12月）。

3 セメスタ

- ・研究の主要部分1を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿
- ・論文発表会にて論文の一部を発表（5-7月）。

4 セメスタ

- ・研究の主要部分2を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿
- ・論文発表会にて研究の進捗状況及び論文の一部を発表（10-12月）。

5 セメスタ

- ・研究の主要部分3を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿
- ・研究の主要部分のいずれかについて、大学院紀要に投稿。
- ・博士論文報告会にて論文の全体像を発表（5-7月）。
 - 6月末までに主指導教授が事前審査委員会設置申請書を研究科委員会に提出
 - 7月の研究科委員会で事前審査委員会設置を審議

6 セメスタ

- 10月の研究科委員会で事前審査報告
- ・博士論文をとりまとめ、提出
- ・博士論文を審査、（副査を1名以上追加）

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等（モデルケース）

第2セメスタに、研究計画を発表（10-12月）

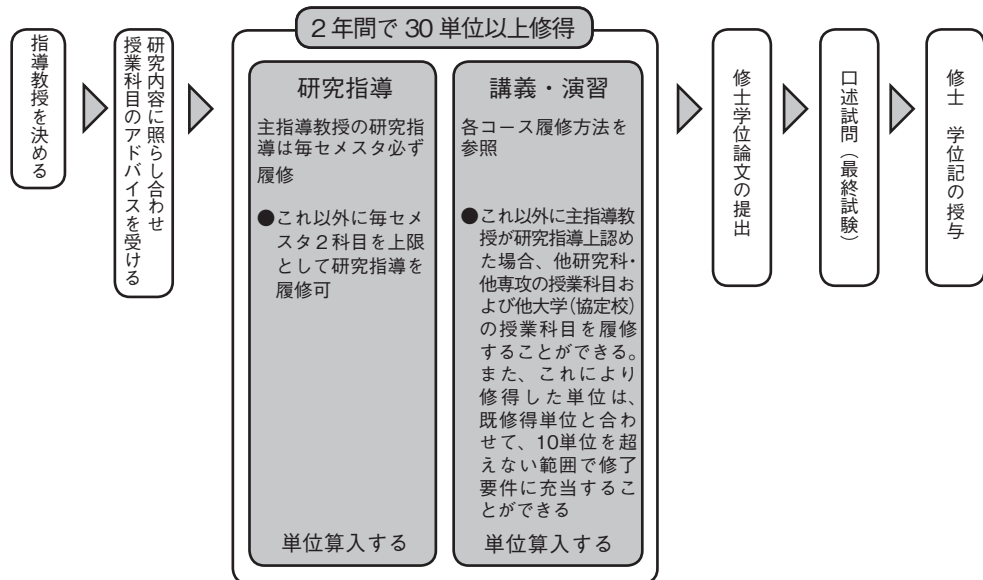
第4セメスタに、研究の進捗状況及び論文の一部を発表（10-12月）。

第5セメスタに、博士論文報告会にて論文の全体像を発表（5-7月）。

（第5セメスタの博士論文報告会は、博士論文の提出要件）

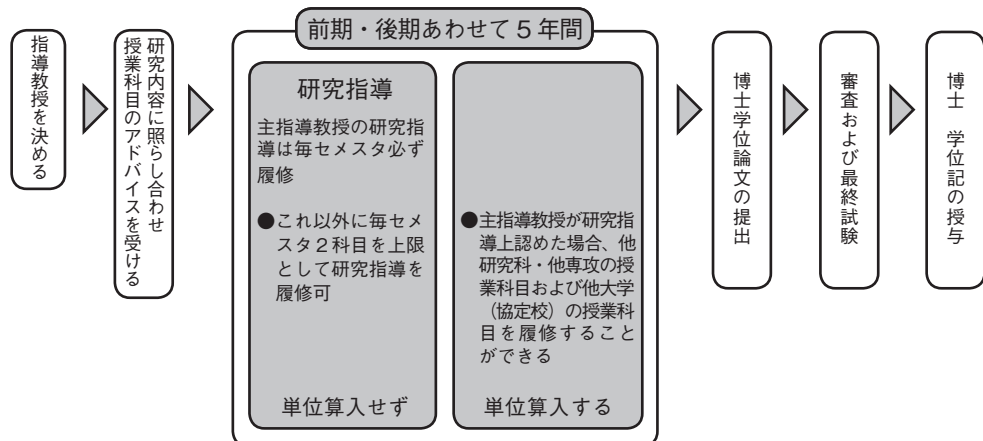
経済学専攻

前期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

後期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

経済学専攻

博士前期課程〔経済学コース〕

	授業科目・研究指導						講義・演習の別	職名	担当教員	備考
	2014年度以前 入学生適用	単位	2015年度以降 入学生適用	単位	組 ナバツグ	学期				
基礎科目	上級ミクロ経済学	4	ミクロ経済学 A ミクロ経済学 B	2 2	ECT601 ECT602	春秋	講義	教授	佐々木 啓介	
	上級マクロ経済学	4	マクロ経済学 A マクロ経済学 B	2 2	ECT603 ECT604	春秋	講義	教授	斎藤 孝	
	統計・計量経済学	4	統計・計量経済学 A 統計・計量経済学 B	2 2	ECS601 ECS602	春秋	講義	准教授	隅田 和人	
理論・政策領域	財政学	4	財政学 A 財政学 B	2 2	PFP601 PFP602	春秋	講義	教授	大野 裕之	
	金融論	4	金融論 A 金融論 B	2 2	MOF601 MOF602	春秋	講義	教授	竹澤 康子	
	産業組織	4	産業組織 A 産業組織 B	2 2	ECP601 ECP602	春秋	講義	教授	吉田 明子	
	日本経済史	4	日本経済史 A 日本経済史 B	2 2	ECH601 ECH602	春秋	講義	教授	島西 智輝	
	西欧経済史	4	西欧経済史 A 西欧経済史 B	2 2	ECH603 ECH604	春秋	講義	教授	道重 一郎	
	経済発展論	4	経済発展論 A 経済発展論 B	2 2	ECP603 ECP604	春秋	講義	教授	藤井 信幸	
グローバル・エコノミー領域	国際経済	4	国際経済 A 国際経済 B	2 2	ECP605 ECP606	春秋	講義	准教授	佐野 聖香	
	開発経済論	4	開発経済論 A 開発経済論 B	2 2	ECP607 ECP608	春秋	講義	教授	郝 仁平	
	アジア経済	4	アジア経済 A アジア経済 B	2 2	ARS601 ARS602	春秋	講義	教授	中川 利香	
	国際金融論	4	国際金融論 A 国際金融論 B	2 2	MOF603 MOF604	春秋	講義	教授	棟近 みどり	
産業・金融領域	金融システム論	4	金融システム論 A 金融システム論 B	2 2	MOF605 MOF606		講義			本年度休講
	中小企業論	4	中小企業論 A 中小企業論 B	2 2	ECP609 ECP610	春秋	講義	教授	安田 武彦	
	情報経済	4	情報経済 A 情報経済 B	2 2	ECT605 ECT606	春秋	講義	教授	城川 俊一	
	産業クラスター論	4	産業クラスター論 A 産業クラスター論 B	2 2	ECP611 ECP612		講義			本年度休講
	企業金融論	4	企業金融論 A 企業金融論 B	2 2	MOF607 MOF608		講義			本年度休講
生活経済領域	社会経済システム	4	社会経済システム A 社会経済システム B	2 2	ECP613 ECP614	春秋	講義	教授	中澤 克佳	
	労働経済	4	労働経済 A 労働経済 B	2 2	PFP603 PFP604	春秋	講義	准教授	久米 功一	
	環境経済	4	環境経済 A 環境経済 B	2 2	ECP615 ECP616	春秋	講義	教授(兼担)	小川 芳樹	
	社会保障	4	社会保障 A 社会保障 B	2 2	PFP605 PFP606	春秋	講義	准教授	川瀬 晃弘	
	社会経済史	4	社会経済史 A 社会経済史 B	2 2	ECH605 ECH606	春秋	講義	教授	藤井 信幸	
研究指導	研究指導 I	4	研究指導 I A 研究指導 I B	2 2	REG601 REG602	春秋		教授	佐々木 啓介	
	研究指導 II	4	研究指導 II A 研究指導 II B	2 2	REG603 REG604	春秋		教授	斎藤 孝	

経済学

	授業科目・研究指導						講義・演習の別	職名	担当教員	備考
	2014年度以前入学生適用	単位	2015年度以降入学生適用	単位	組 ナンバリング	学期				
研究指導	研究指導Ⅲ	4	研究指導ⅢA	2	REG605	春秋	教授	門間麻紀		
			研究指導ⅢB	2	REG606					
	研究指導Ⅳ	4	研究指導ⅣA	2	REG607	春秋	准教授	隅田和人		
			研究指導ⅣB	2	REG608					
	研究指導Ⅴ	4	研究指導ⅤA	2	REG609	春秋	教授	大野裕之		
			研究指導ⅤB	2	REG610					
	研究指導Ⅵ	4	研究指導ⅥA	2	REG611	春秋	教授	竹澤康子		
			研究指導ⅥB	2	REG612					
	研究指導Ⅶ	4	研究指導ⅦA	2	REG613	春秋	教授	吉田明子		
			研究指導ⅦB	2	REG614					
	研究指導Ⅷ	4	研究指導ⅧA	2	REG615	春秋	教授	島西智輝		
			研究指導ⅧB	2	REG616					
	研究指導Ⅸ	4	研究指導ⅨA	2	REG617	春秋	教授	藤井信幸		
			研究指導ⅨB	2	REG618					
	研究指導Ⅹ	4	研究指導ⅩA	2	REG619	春秋	准教授	佐野聖香		
			研究指導ⅩB	2	REG620					
	研究指導Ⅺ	4	研究指導ⅪA	2	REG621	春秋	教授	中川利香		
			研究指導ⅪB	2	REG622					
	研究指導Ⅻ	4	研究指導ⅫA	2	REG623	春秋	教授	郝仁平		
			研究指導ⅫB	2	REG624					
	研究指導Ⅼ	4	研究指導ⅬA	2	REG625	春秋	教授	道重一郎		
			研究指導ⅬB	2	REG626					
研究指導Ⅽ	4	研究指導ⅭA	2	REG627	春秋	教授	棟近みどり			
		研究指導ⅭB	2	REG628						
研究指導Ⅾ	4	研究指導ⅮA	2	REG629				本年度休講		
		研究指導ⅮB	2	REG630						
研究指導Ⅿ	4	研究指導ⅯA	2	REG631	春秋	教授	安田武彦			
		研究指導ⅯB	2	REG632						
研究指導ⅰ	4	研究指導ⅰA	2	REG633	春秋	教授	城川俊一			
		研究指導ⅰB	2	REG634						
研究指導ⅱ	4	研究指導ⅱA	2	REG635	春秋	教授	中澤克佳			
		研究指導ⅱB	2	REG636						
研究指導ⅲ	4	研究指導ⅲA	2	REG637	春秋	准教授	久米功一			
		研究指導ⅲB	2	REG638						
研究指導ⅳ	4	研究指導ⅳA	2	REG639	春秋	准教授	川瀬晃弘			
		研究指導ⅳB	2	REG640						
研究指導ⅴ	4	研究指導ⅴA	2	REG641	春秋	教授(兼任)	小川芳樹	2015年度以前入学生のみ履修可		
		研究指導ⅴB	2	REG642						

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。主指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は8単位を上限とする。
- 3) 副指導教授の「研究指導」を、在学中2セメスタ以上履修すること（2014年度以前入学生は在学中1回以上履修すること）。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
 2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
 3. 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
 4. 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
 5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づき、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
 6. 「領域」は履修の目安であり、複数の領域にまたがって授業科目を履修することはさしつかえない。
- 注) 通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

博士前期課程〔環境コース〕

	授業科目・ 研究指導	単位	相 ナンバリング	学期	講義・ 演習の別	職名	担当教員	備考
基礎科目	環境学	2	EPS601	春	講義	教授	鈴木孝弘	
	ミクロ経済学A	2	ECT601	春	講義	教授	佐々木啓介	
	ミクロ経済学B	2	ECT602	秋	講義	教授	佐々木啓介	
	統計・計量経済学A	2	ECS601	春	講義	准教授	隅田和人	
	統計・計量経済学B	2	ECS602	秋	講義	准教授	隅田和人	
専門科目	環境経済学A	2	ECP601	春	講義	教授(兼担)	小川芳樹	
	環境経済学B	2	ECP602	秋	講義	教授(兼担)	小川芳樹	
	廃棄物政策A	2	EPS602	春	講義	教授	山谷修作	
	廃棄物政策B	2	EPS603	秋	講義	教授	山谷修作	
	環境と会計A	2	ACC601		講義			本年度休講
	環境と会計B	2	ACC602		講義			本年度休講
	環境税特論	2	EPS604	春	講義	教授(兼担)	和田尚久	
	公害対策論A	2	EPS605	春	講義	教授	鈴木孝弘	
	公害対策論B	2	EPS606	秋	講義	教授	鈴木孝弘	
	環境学特論	2	EPS607	秋	講義	教授	鈴木孝弘	
	環境評価論A	2	EPS608	春	講義	教授	清田佳美	
	環境評価論B	2	EPS609	秋	講義	教授	清田佳美	
財政学A	2	PFP601	春	講義	教授	大野裕之		
財政学B	2	PFP602	秋	講義	教授	大野裕之		
研究指導	研究指導I A	2	REG601	春		教授	鈴木孝弘	
	研究指導I B	2	REG602	秋		教授	鈴木孝弘	
	研究指導II A	2	REG603					本年度休講
	研究指導II B	2	REG604					本年度休講
	研究指導III A	2	REG605	春		教授	山谷修作	
	研究指導III B	2	REG606	秋		教授	山谷修作	
	研究指導IV A	2	REG607					本年度休講
	研究指導IV B	2	REG608					本年度休講
	研究指導V A	2	REG609	春		教授	清田佳美	
	研究指導V B	2	REG610	秋		教授	清田佳美	
	研究指導VI A	2	REG611					本年度休講
	研究指導VI B	2	REG612					本年度休講

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。主指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は8単位を上限とする。5セメスタ以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 3) 副指導教授の「研究指導」を、在学中2セメスタ以上履修すること。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
3. 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
4. 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

博士後期課程

授業科目・研究指導						講義・演習の別	職名	担当教員	備考
2014年度以前入学生適用	単位	2015年度以降入学生適用	単位	相 ナシ ナンバリング	学期				
研究指導 I		研究指導 I A		REG701	春秋	教授	佐々木 啓 介		
		研究指導 I B		REG702					
研究指導 II		研究指導 II A		REG703	春秋	教授	郝 仁 平		
		研究指導 II B		REG704					
研究指導 III		研究指導 III A		REG705	春秋	教授	門 間 麻 紀		
		研究指導 III B		REG706					
研究指導 IV		研究指導 IV A		REG707	春秋	教授	大 野 裕 之		
		研究指導 IV B		REG708					
研究指導 V		研究指導 V A		REG709	春秋	教授	竹 澤 康 子		
		研究指導 V B		REG710					
研究指導 VI		研究指導 VI A		REG711				本年度休講	
		研究指導 VI B		REG712					
研究指導 VII		研究指導 VII A		REG713	春秋	教授	道 重 一 郎		
		研究指導 VII B		REG714					
研究指導 VIII		研究指導 VIII A		REG715				本年度休講	
		研究指導 VIII B		REG716					
研究指導 IX		研究指導 IX A		REG717	春秋	教授	城 川 俊 一		
		研究指導 IX B		REG718					
研究指導 X		研究指導 X A		REG719	春秋	教授	島 西 智 輝		
		研究指導 X B		REG720					
研究指導 XI		研究指導 XI A		REG721				本年度休講	
		研究指導 XI B		REG722					
研究指導 XII		研究指導 XII A		REG723				本年度休講	
		研究指導 XII B		REG724					
研究指導 XIII		研究指導 XIII A		REG725	春秋	教授	鈴 木 孝 弘		
		研究指導 XIII B		REG726					
研究指導 XIV		研究指導 XIV A		REG727	春秋	教授(兼任)	小 川 芳 樹		
		研究指導 XIV B		REG728					
研究指導 XV		研究指導 XV A		REG729	春秋	教授	山 谷 修 作		
		研究指導 XV B		REG730					

修了に必要な単位等

主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

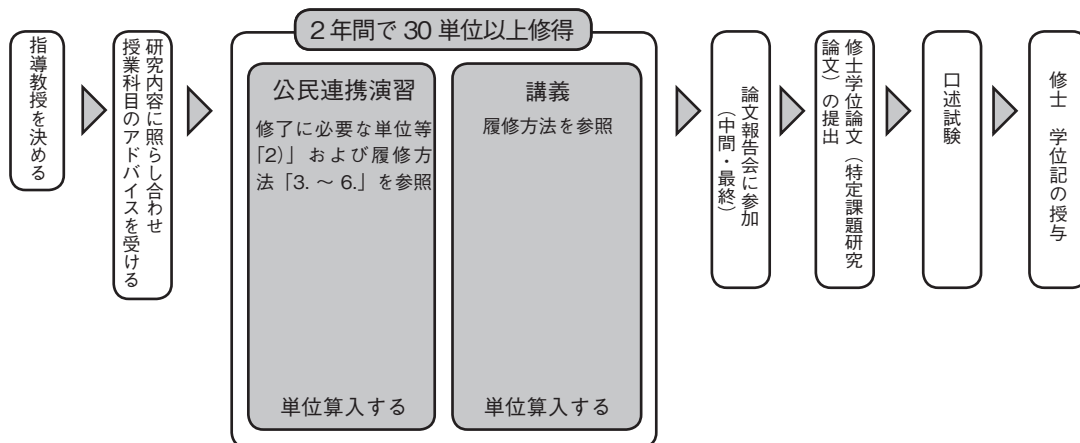
- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

注) 通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

公民連携専攻

修士課程

履修の流れ



公 民 連 携 専 攻

修士課程

	授業科目・研究指導	相 ナバリング	単位		講義・ 演習の別	英語	職 名	担当教員	備 考
			春	秋					
1 セメスタ対象	公民連携演習Ⅰ①	REG601			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅰ②	REG602	2	2	演習		客員教授	山田 肇	
	公民連携演習Ⅰ③	REG603	2	2	演習		准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅰ④	REG604			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅰ⑤	REG605	2	2	演習		教授	川崎 一泰	
	公民連携演習Ⅰ⑥	REG606	2	2	演習		教授	根本 祐二	
	公民連携演習Ⅰ⑦	REG607	2	2	演習		客員教授	関 幸子	
	公民連携演習Ⅰ⑧	REG608	2	2	演習	*4	教授	サム田 測	
	公民連携演習Ⅰ⑨	REG609	2	2	演習		客員教授	金谷 隆正	
	公民連携演習Ⅰ⑩	REG610	2	2	演習		客員教授	南 学	
	公民連携演習Ⅰ⑪	REG611	2	2	演習		教授	根本 祐二	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅰ⑫	REG612	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅰ⑬	REG613	2	2	演習	*1	教授	小川 芳樹	
	公民連携演習Ⅰ⑭	REG614	2	2	演習	*4	客員教授	小美原 融	
	公民連携演習Ⅰ⑮	REG657	2	2	演習		准教授	難波 悠	
2 セメスタ対象	公民連携演習Ⅱ①	REG615			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅱ②	REG616	2	2	演習		客員教授	山田 肇	
	公民連携演習Ⅱ③	REG617	2	2	演習		准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅱ④	REG618			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅱ⑤	REG619	2	2	演習		教授	川崎 一泰	
	公民連携演習Ⅱ⑥	REG620	2	2	演習		教授	根本 祐二	
	公民連携演習Ⅱ⑦	REG621	2	2	演習		客員教授	関 幸子	
	公民連携演習Ⅱ⑧	REG622	2	2	演習	*4	教授	サム田 測	
	公民連携演習Ⅱ⑨	REG623	2	2	演習		客員教授	金谷 隆正	
	公民連携演習Ⅱ⑩	REG624	2	2	演習		客員教授	南 学	
	公民連携演習Ⅱ⑪	REG625	2	2	演習		教授	根本 祐二	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅱ⑫	REG626	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅱ⑬	REG627	2	2	演習	*1	教授	小川 芳樹	
	公民連携演習Ⅱ⑭	REG628	2	2	演習	*4	客員教授	小美原 融	
	公民連携演習Ⅱ⑮	REG658	2	2	演習		准教授	難波 悠	
3 セメスタ対象	公民連携演習Ⅲ①	REG629			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅲ②	REG630	2	2	演習		客員教授	山田 肇	
	公民連携演習Ⅲ③	REG631	2	2	演習		准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅲ④	REG632			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅲ⑤	REG633	2	2	演習		教授	川崎 一泰	
	公民連携演習Ⅲ⑥	REG634	2	2	演習		教授	根本 祐二	
	公民連携演習Ⅲ⑦	REG635	2	2	演習		客員教授	関 幸子	
	公民連携演習Ⅲ⑧	REG636	2	2	演習	*4	教授	サム田 測	
	公民連携演習Ⅲ⑨	REG637	2	2	演習		客員教授	金谷 隆正	
	公民連携演習Ⅲ⑩	REG638	2	2	演習		客員教授	南 学	
	公民連携演習Ⅲ⑪	REG639	2	2	演習		教授	根本 祐二	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅲ⑫	REG640	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅲ⑬	REG641	2	2	演習	*1	教授	小川 芳樹	
	公民連携演習Ⅲ⑭	REG642	2	2	演習	*4	客員教授	小美原 融	
	公民連携演習Ⅲ⑮	REG659	2	2	演習		准教授	難波 悠	
4 セメスタ対象	公民連携演習Ⅳ①	REG643			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅳ②	REG644	2	2	演習		客員教授	山田 肇	
	公民連携演習Ⅳ③	REG645	2	2	演習		准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅳ④	REG646			演習				本年度休講
	公民連携演習Ⅳ⑤	REG647	2	2	演習		教授	川崎 一泰	
	公民連携演習Ⅳ⑥	REG648	2	2	演習		教授	根本 祐二	
	公民連携演習Ⅳ⑦	REG649	2	2	演習		客員教授	関 幸子	
	公民連携演習Ⅳ⑧	REG650	2	2	演習	*4	教授	サム田 測	
	公民連携演習Ⅳ⑨	REG651	2	2	演習		客員教授	金谷 隆正	
	公民連携演習Ⅳ⑩	REG652	2	2	演習		客員教授	南 学	
	公民連携演習Ⅳ⑪	REG653	2	2	演習		教授	根本 祐二	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅳ⑫	REG654	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅳ⑬	REG655	2	2	演習	*1	教授	小川 芳樹	
	公民連携演習Ⅳ⑭	REG656	2	2	演習	*4	客員教授	小美原 融	
	公民連携演習Ⅳ⑮	REG660	2	2	演習		准教授	難波 悠	

公民
連携

	授業科目・研究指導	サブタイトル	相 関 ナンバリング	単 位		講義・演習の別	英語	職名	担当教員	備 考	
				春	秋						
選択科目	PPP 総論		PPF601	2		講義		教授	根本 祐二	2014年度以前入学生は必修	
	地域分析		PPF602		2	講義		准教授	井上 武史	2014年度以前入学生は必修	
	経済学基礎		ECT601	2		講義		教授	川崎 一泰		
	公共経済学		PPF603			講義				本年度休講 (隔年開講)	
	政策評価論		PPF604		2	講義		教授	松原 聡	(隔年開講)	
	PPP 経済理論		ECT602		2	講義		教授	加賀見 一彰		
	金融論基礎		MOF601			講義				本年度休講	
	地域金融論		MOF602	2		講義		非常勤講師	藤木 秀明		
	PPP ファイナンス論		MOF603	2		講義		客員教授	金谷 隆正		
	財政学基礎		PPF605	2		講義		准教授	松崎 大介		
	日本の経済財政		PPF606	2		講義		客員教授	桑原 進		
	PPP ビジネスマネジメント論		MAN601		2	講義		客員教授	中村 賢一		
	財務分析論		ACC601			講義				本年度休講	
	地域情報化		ECP607	2		講義		客員教授	山田 肇		
	PPP 論文研究		SEM601	2		講義		客員教授	五十嵐 誠		
	PPP 制度手法論		ECP602	2		講義		客員教授	美原 融		
	環境経済学		ECP603	2		講義		教授	小川 芳樹		
	エネルギー経済論		ECP604		2	講義		教授	小川 芳樹		
	PPP プロジェクト演習Ⅰ		SEM602	2		講義		教授	サム 田 洩		
	PPP プロジェクト演習Ⅱ		SEM603		2	講義		教授	サム 田 洩		
PPP デザイン論		PPF607		2	講義		客員教授	片桐 徹也			
海外 PPP 実務演習Ⅰ		SEM604	2		講義	*2	准教授	難波 悠	注1		
海外 PPP 実務演習Ⅱ		SEM605		2	講義	*2	准教授	難波 悠	注1		
PPP Omnibus Lecture Series I		PPF608	2		講義	*1	准教授	難波 悠			
PPP Omnibus Lecture Series II		PPF609		2	講義	*1	准教授	難波 悠			
選択科目	シティ・マネジメントコース	シティ・マネジメントⅠ	日本の地方行財政制度	PPF614	2	講義		客員教授	南 学		
		シティ・マネジメントⅡ	地域リーダー論	POL601		2	講義		客員教授	関 幸子	
		シティ・マネジメントⅢ	ICMA 連携科目:世界のシティ・マネジメント	PPF615	2	講義		准教授	難波 悠		
		シティ・マネジメントⅣ	バランスバジェット手法実践	PPF616		2	講義		准教授	難波 悠	
		シティ・マネジメントⅤ	公共施設・インフラマネジメント	PPF617		2	講義		教授	根本 祐二	
		シティ・マネジメントⅥ	地域ビジネスモデル	ECP606		2	講義		客員教授	山田 肇	
	Global PPP コース	Global PPP Ⅰ	海外 PPP 制度手法論	ECP605		2	講義	*3	客員教授	美原 融	本年度は原則英語で開講
		Global PPP Ⅱ	国連 PPP 推進局連携科目:世界の PPP 政策	PPF610	2		講義	*3	教授	サム 田 洩	本年度は日本語で開講
		Global PPP Ⅲ	English Presentation	SEM606			講義	*1			本年度休講 (隔年開講)
		Global PPP Ⅳ	Global PPP Finance	MOF604		2	講義	*2	客員教授	玉置 知己	
		Global PPP Ⅴ	Asian Economy	PPF611	2		講義	*2	客員教授	玉置 知己	
		Global PPP Ⅵ	世界のインフラ PPP	PPF612	2		講義	*3	准教授	難波 悠	本年度は原則英語で開講
		Global PPP Ⅶ	PPP Theory	PPF613		2	講義	*1	准教授	難波 悠	
	PPP ビジネスコース	PPP ビジネスⅠ	PPP ケーススタディ	MAN602		2	講義		非常勤講師	藤木 秀明	
		PPP ビジネスⅡ	NCPPP 連携科目:世界の PPP ビジネス	MAN603		2	講義		教授	サム 田 洩	
		PPP ビジネスⅢ	PPP ビジネスプラン	MAN604	2		講義		客員教授	阿部 仁志	
		PPP ビジネスⅣ	PPP プランニング論	MAN605		2	講義		客員教授	金谷 隆正	
PPP ビジネスⅤ		まちづくりビジネス論	MAN606	2		講義		客員教授	矢部 智仁		
PPP ビジネスⅥ		財務計画論	MAN607		2	講義		客員教授	五十嵐 誠		

注1 海外 PPP 実務演習Ⅰ・Ⅱ

<履修要件>

①以下の機関、もしくはこれらの機関と契約しているコンサルタント、サプライヤー、請負等の民間企業、非営利団体の海外 PPP 担当スタッフであること

・国連、世銀、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行等の国際機関

- ・外国政府
 - ・内閣府、外務省、在外公館、JICA、JBIC、D B J、日本プロジェクト産業協議会等の日本において対外的PPP活動を行っている機関
 - ・その他海外でのPPPプロジェクトに携わっている企業等
- ② PPP総論の単位またはPPP Theoryの単位を取得済みもしくは同等の知識を有すると認められること。
- ③ 上記活動を、遠隔システムまたは電子メール等により担当教員に定期的（月1回程度）に報告し指導を受ける。

英語*1 常時（英語開講）：外国人履修者の有無にかかわらず常に英語で開講する。

英語*2 原則（英語開講）：英語による講義を希望する外国人が履修する場合は英語で開講し、そうでない場合は日本語で開講する。

英語*3 隔年（英語開講）：日本語開講と原則英語開講を隔年で実施する。

英語*4 混合（開講）：演習において英語による講義を希望する外国人が履修する場合は日本語、英語の混合で開講する。

修了に必要な単位等

1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。

2) 原則として、主指導教授の開講する「公民連携演習」を、毎セメスタ必ず履修すること。

「公民連携演習」は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に原則毎セメスタ履修すること。長期履修学生および5セメスタ以上在学する場合（Ⅰ～Ⅳを修得済み）は再度Ⅳを履修すること。

履修方法

- 履修する授業科目は、入学時ガイダンスおよび主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 同一名称の講義科目は、複数回履修・単位修得でき、修得した単位はすべて修了単位として認められる。ただし、授業運営上、履修登録を制限することがある。
- 主指導教授は、「公民連携演習」科目担当教員から1名決定すること。主指導教授の演習は、原則として毎セメスタ履修すること。ただし、主指導教授の演習と同時限に開講されている講義科目を履修するなど主指導教授が指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
- 副指導教授は、主指導教授の助言を得て1名または2名決定すること。副指導教授は、当該年度に「公民連携演習」または講義科目を開講している教授・特任教授・准教授・客員教授から決定すること。
- 主指導教授または副指導教授以外の「公民連携演習」は履修することができない。
- 主指導教授または副指導教授はセメスタ毎に変更できる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
- 修了には、修士学位論文または特定課題研究論文の作成、報告会への参加（中間、最終）および口述試験合格が必須である。書式等に関しては下表を参照すること。
- 本専攻が開講する講義・演習は本専攻以外の学生が履修することはできない。
- 遠隔地に居住するため授業開講時間に直接教室で受講することが困難な場合は、自宅や職場のインターネットに接続されたパソコンから、遠隔システムを利用して、リアルタイムで受講することができる。原則として、すべての講義、演習を対象とする。システムの利用を希望する場合は、事前に申し出て許可を得ること。

	修士論文	特定課題研究
趣 旨	公民連携に関連するテーマに関する考察	
目 的	「広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力を培う」（大学院設置基準第3条）という修士課程の趣旨に沿ったものであること	企業、政策官庁、自治体などに対して提案し相手方に検討を促すものであること
審査項目	以下を総合的に判断する 1 独創性（課題の把握・整理方法、解決方法の独創性） 2 論理的一貫性（解決方法の合理性、論証による説得力、一貫性） 3 理論的發展性（公民連携の制度や手法に対する発展性） 4 適時性（公民連携一般の抱える課題や、提案先が抱える課題への適時性） 5 応用可能性（社会的貢献性）（課題解決に当たり検討すべき諸問題の考察、提案の実現可能性）	
形 式	論文形式	
文 字 数	目安として60,000字程度以上	目安として40,000字程度以上